

いわき市河川洪水ハザードマップ 想定最大規模 令和7年12月作成

夏井川・小玉川・真似井川・相川・荒神川 (小川地区)

※1 このマップは、県が指定した洪水浸水想定区域をもとに作成したものです。
 (洪水浸水想定区域：上記河川の解析区画内における河川の洪水を想定したもの)
 ※2 線状降水帯の発生など、短時間の強い降雨によって、着色していない箇所においても浸水する可能性があります。

マップの使い方

- このマップは、夏井川、小玉川、真似井川、相川、荒神川が氾濫した際に、浸水が想定される区域や土砂災害の危険箇所、市の指定避難所等を示したものです。
- 避難所や避難場所がどこなのか、安全に避難するにはどう行けばよいかを前もって確認し、地図や裏面のマイ・タイムラインに書き込んでおきましょう。
- 市の指定避難所等の詳細のほか、洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設等については、市公式ホームページに掲載しています。
- 避難所の開設状況や混雑状況はVACAN (MAP型混雑検知システム) をご確認ください。



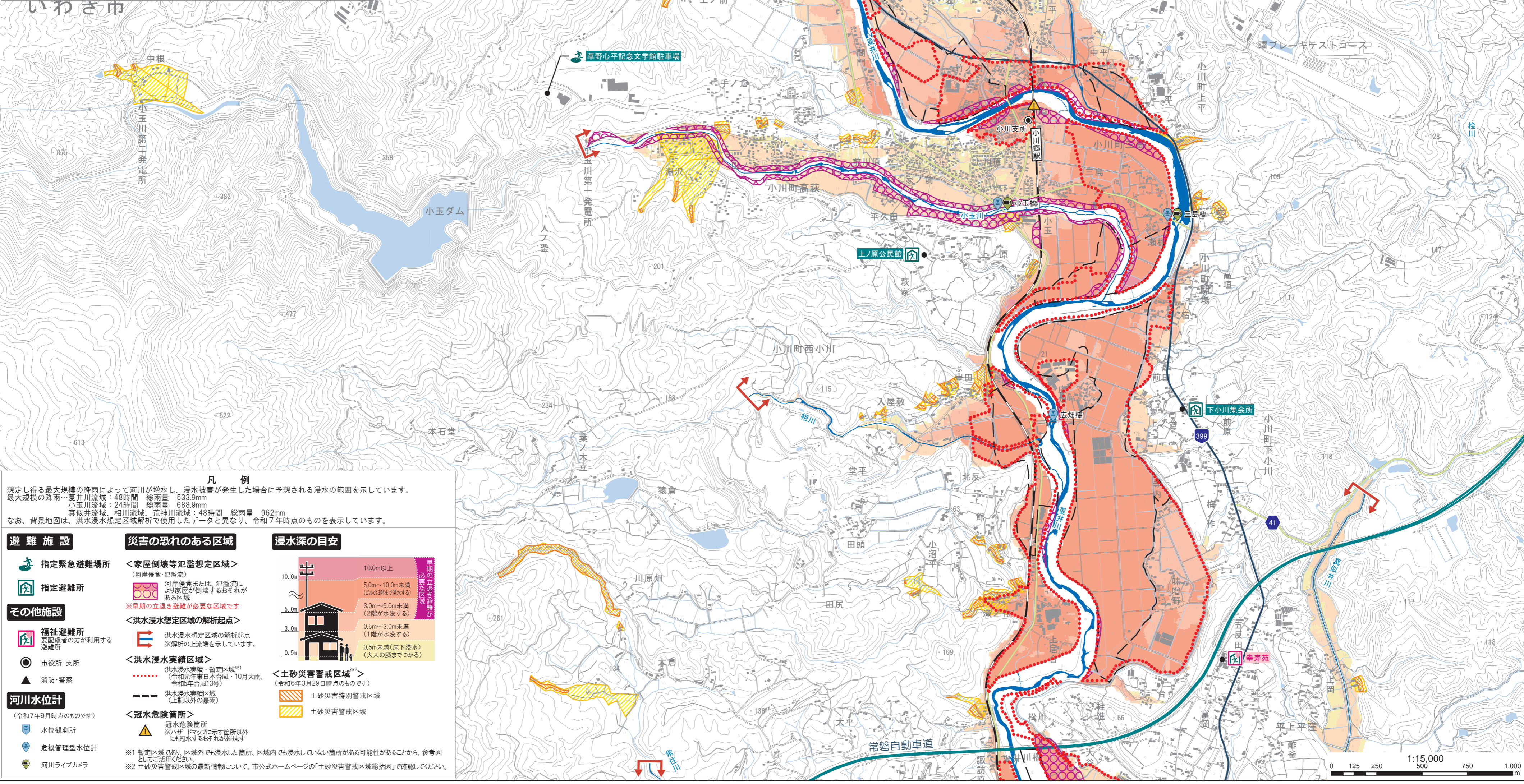
市の指定避難所等



洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設等 (370ページ参照)



VACAN



凡例

想定し得る最大規模の降雨によって河川が増水し、浸水被害が発生した場合に予想される浸水の範囲を示しています。
 最大規模の降雨…夏井川流域：48時間 総雨量 533.9mm
 小玉川流域：24時間 総雨量 688.9mm
 真似井流域 相川流域 荒神川流域：48時間 総雨量 962mm
 なお、背景地図は、洪水浸水想定区域解析で使用したデータと異なり、令和7年時点のものを表示しています。

避難施設

- 指定緊急避難場所 (河津浸食・氾濫流)
- 指定避難所 (河津浸食または、氾濫流により家屋が倒壊するおそれがある区域)

その他施設

- 福祉避難所 (要配慮者の方が利用する避難所)
- 市役所・支所
- 消防・警察

河川水位計

(令和7年9月時点のものです)

- 水位観測所
- 危機管理型水位計
- 河川ライブカメラ

災害の恐れのある区域

<家屋倒壊等氾濫想定区域> (河津浸食・氾濫流)

<洪水浸水想定区域の解析起点> (洪水浸水想定区域の解析起点 ※解析の上流端を示しています)

<洪水浸水実績区域> (洪水浸水実績 - 暫定区域※1 (令和7年台風10号・10月大雨、令和6年台風13号))

<冠水危険箇所> (冠水危険箇所 ※ハザードマップに示す箇所以外にも冠水するおそれがあります)

浸水深の目安

10.0m以上	早期の立退き避難が必要
5.0m~10.0m未満 (比の淵まで浸水)	
3.0m~5.0m未満 (2階が浸水)	
0.5m~3.0m未満 (1階が浸水)	
0.5m未満 (床下浸水) (大人の膝までつかる)	

<土砂災害警戒区域>

(令和6年3月29日時点のものです)

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

※1 暫定区域であり、区域外でも浸水した箇所、区域内でも浸水していない箇所がある可能性があることから、参考図としてご利用ください。
 ※2 土砂災害警戒区域の最新情報について、市公式ホームページの「土砂災害警戒区域総括図」で確認ください。